

第92期 報告書

H27・04・01 ▶ H28・03・31

株式会社 よみうりランド

証券コード9671



グッジョバ!! (平成28年3月オープン)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社グループ第92期（平成27年4月1日～平成28年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申しあげます。

平成28年6月



代表取締役会長

関根 達雄



代表取締役社長

上村 武志

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は持ち直しつつありましたが、中国経済の悪化や米国の金利引き上げの影響を受け、その足取りは緩慢でありました。また、当社グループの関連する業界に影響する個人消費は、緩やかに持ち直してきたものの、消費者マインドに足踏みがみられ、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は積極的な設備投資により新たな事業基盤を構築すると同時に、事業の差別化を図ってまいりました。

川崎競馬場では、3号スタンド跡地に商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」を建設し、本年1月より運営会社に賃貸を開始いたしました。2月のオープン当日は、開店を待つ約2千人のお客様が列をつくり、入場制限をする店舗が出るほどの賑わいとなりました。また、この施設のオープンに合わせて、2号スタンドを様々な形態で競馬を楽しめる空間へとリニューアルし、好評を博しております。

遊園地では、6シーズン目の開催となる冬のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を、他園に先駆けて10月16日より開幕いたしました。宝石色のLEDを使用した、国内屈指のイルミネーションイベントとして連日多くのお客様にご来園いただき、過去最高の入園者数を記録いたしました。また、本年3月には、「モノづくり」が体感できる日本最大規模の新エリア「グッジョバ!!!」をオープンいたしました。エリアは自動車、食品、ファッション、文具の4業種のfactoryで構成され、日本初の4機種を含む新アトラクション15機種や、「モノづくり」が楽しめるワークショップが好評を得ております。その他、年間を通じて開催した季節のイベントが好評で、プールWAIなども含めた入園者数は、東日本遊園地協会に加盟しているクローズ型遊園地で二年連続となる首位を獲得いたしました。

なお、東日本大震災復興支援活動として、「東北応援プロジェクト」と銘打ち、遊園地やゴルフ場をはじめ全事業所に募金箱を設置し、連動イベントを開催してまいりました。募金とイベント売上の一部は、読売光と愛の

事業団を通じて復興支援事業に活用していただきます。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は187億7千1百万円（前期比8.5%増）、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより19億8千3百万円（同12.9%減）、経常利益は28億5千4百万円（同7.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億8千6百万円（同12.3%増）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績などを背景に、緩やかな回復が期待される一方、海外景気の下振れなどが景気を下押しするリスクとなっており、不透明な状況で推移するものと思われます。

このような状況の下、当社グループは、設備投資により取得した新施設を新たな成長の基盤へと育てるとともに、既存事業の更なる発展に努めてまいります。

川崎競馬場は、本年2月に商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」がオープンし、365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる他に類を見ないレジャーエリアとなりました。ファミリー層をターゲットにした新たな集客イベントを実施することで、競馬ファンのみならず、新たな顧客の獲得を目指してまいります。また本年11月に4年ぶり3回目の開催となるダート競馬の祭典「JBC競走」が開催されます。訪れる多くのファンに、リニューアルしたスタンドをはじめ、屈指のレジャーエリアとなった川崎競馬の魅力を訴求してまいります。

船橋競馬場では、本年4月に駐車場内に競輪場外車券売場「サテライト船橋」とオートレース場外車券売場「オートレース船橋」が併設された複合型場外発売施設をオープンいたしました。競馬、競輪、オートレースを発売する国内有数のエリアとして、相互利用による新たなファンの獲得に努めてまいります。

ゴルフ部門は、引き続きゴルフ事業統括部門が効率的にゴルフ4場を一括管理し、接客業務を中心に人材交流をすすめ、顧客サービスの向上に努めてまいります。また、4場間の顧客紹介の促進や統一企画の実施などにより、営業面での協力体制を強化してまいります。

遊園地は、楽しみながらモノづくりが体感できる新エリア「グッジョバ!!」におきまして、従来の遊園地と異なる新しいエンターテインメントを提供すると同時に、「全国ご当地大グルメ祭」や「ジュエルミネーション」など、回を重ねるごとに人気を増している様々な季節のイベントに磨きをかけてまいります。さらに、温浴施設「丘の湯」や親子向け屋内遊戯施設「キドキド」などの周辺施設と連携し、遊園地部門全体で相乗効果を図り、総合的な集客力の強化を目指してまいります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総合レジャー事業 売上高
16,470 百万円

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、164億7千万円（前期比9.4%増）、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより25億7千1百万円（同12.0%減）となりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同様63日開催されました。重賞競走は6月の「関東オークス」や12月の「全日本2歳優駿」、1月の「川崎記念」などが開催されました。各レースとも勝馬投票券売上がレコードを更新するなど、盛り上がりを見せました。特に川崎競馬最大のレース「川崎記念」は、JRA所属馬の出走枠が拡大されたこともあり、川崎競馬における勝馬投票券売上の1レース最高記録を達成いたしました。JRAの場外発売場「ウインズ川崎」での発売は、前期比1日増の108日実施されました。ナイター競馬開催日には、馬場内芝生広場での「バーベキュー広場」の実施などにより賑わいをみせました。なお、南関東の他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は、前期比5日減の201日実施されました。施設面では、3号スタンド跡地に商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」が完成し、本年2月にオープンいたしました。この施設のオープンに合わせて2号スタンドのリニューアルを実施いたしました。1階を屋内化し、100インチのモニターで競馬観戦ができる和モダンをコンセプトとした「ロジータホール」を新設するとともに、4階有料席エリアはグループ席やお座敷席、ブース席などを設置いたしました。様々な形態で快適に競馬を楽しめる、とファンから好評を得ております。



川崎競馬場 ロジータホール

船橋競馬は、前年同様54日開催されました。5月はビッグレース「かしわ記念」が開催され、前年を上回る多くのファンで賑わいをみせました。また、同日に開催した「おまフェス2015～親子であそぼ。～」では、大型ショッピングセンター「ららぽーとTOKYO-BAY」とコラボレートしたイベントを実施いたしました。ファンはもとより、普段競馬に馴染みのない家族連れも多数訪れ、大変好評を博しました。6月からはナイター競馬「ハートビートナイター」がスタートし、新たなファンの開拓に寄与しております。なお、JRAの場外発売場「J-PLACE船橋」での発売は、前期比1日減の51日実施されました。また、他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は、前期比5日減の210日実施されました。



船橋競馬場 「ハートビートナイター」の様子

船橋オートレースは、前年同様62日開催されましたが、施行自治体である千葉県及び船橋市の決定に基づき、本年3月末をもって事業が廃止されました。3月には特別G I 「プレミアムカップ」が開催され、多くのファンが見守る中、船橋オートレース65年の歴史に幕を閉じました。

競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前期比2日減の360日実施されました。

なお、船橋オートレースの廃止を受け、関係者間で調整を進め、船橋競馬場の駐車場内に、競輪場外車券売場「サテライト船橋」とオートレース場外車券売場「オートレース船橋」が併設された複合型場外発売施設を、平成28年4月にオープンいたしました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、45億6百万円（前期比6.7%増）となりました。

東京よみうりカントリークラブは、会員のクラブライフを充実させるための企画を強化してまいりました。会員同士の交流を目的とした自主コンペを年間を通じて開催したほか、季節ごとに「食」イベントの充実を図り好評を博しました。また、恒例のクラブハウスレストランでの「丘の上JAZZin東京よみうりカントリークラブ2015」は、予想を上回るお客様で賑わいました。施設面では、引き続きチャンピオンコースとしてのコース維持を行いました。これらの結果、耐暑性に優れた新イベントグリーンでの営業日数が増加したことや、数年来強化している外部営業の効果もあり、入場者は増加いたしました。なお、12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は、人気選手の優勝で幕を閉じ盛り上がりを見せました。

よみうりゴルフ倶楽部は、多様な自主コンペを開催したことや、特別料金営業日の設定などにより、入場者は増加いたしました。施設面では、昨年4月にリニューアルした女性浴室やパウダールームなどが、女性プレーヤーから好評を博しております。また、遊園地のイベント「ほたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連携した恒例のディナーイベントをクラブハウスのレストランにて開催し、多くのお客様で賑わいました。

静岡よみうりカントリークラブは、昨年10月に開場30周年を迎え、記念事業の一環としてオープンコンペやレディスウィークなどの各種イベントの開催や、レディスティ新設工事などを実施し、プレーヤーから好評を博してまいりました。10月に開催した開場記念杯には前年を上回るプレーヤーが参加するなど盛り上がりを見せ、入場者は増加いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、利用料金の見直しや昼食付料金の導入などにより、近隣コースとの競争力を高めてまいりました。また、女性プレーヤー増加を目的として、レディスティの新設や女性用アメニティグッズを充実させました。さらに、ゴルフ事業を統括する部門が中心となり外部営業を強化した結果、3月には開場以来最高となる入場者数を記録するなど、入場者は増加いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、29億1千2百万円（前期比2.2%増）となりました。



「ゴルフ日本シリーズJTカップ」の様子

遊園地部門の遊園地では、季節を通じて多彩なイベントを開催いたしました。春のお花見遊園地「Dream Sakura 2015～僕らのハル!!」にはじまり、ゴールデンウィークの「全国ご当地大グルメ祭2015」、夏のほたる観賞イベント「ほたるの宵」や音楽グループGReeeeNプロデュースによる「よみUReeeeNランド」、全天候型多目的ホール日テレらんらんホールでの「ポリショイ・ステージサーカス2015」、秋はタツノコプロ完全プロデュースによるハロウィンイベント「Yomiuriland Halloween」などが好評を博しました。そして、冬の風物詩であるイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は、他園に先駆け10月中旬より開幕いたしました。6シーズン目の今回も世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のもと、昨シーズンより100万球増設した宝石色のLED電球400万球で園内全域を彩りました。また、イベントも噴水ショーや花火、巨大あみだゲーム

「FIREハートⅡ」など多数実施し、国内屈指のイルミネーションを盛り上げました。最寄駅の京王よみうりランド駅には、新宿発の下り特急・準特急列車の一部が期間限定で臨時停車したことも奏功し、過去最高であった昨シーズンの入園者数の記録を塗り替えました。そして、本年3月18日、約100億円を投じたモノづくりが体感できる日本最大規模の新エリア「グッジョバ!!!」をオープンいたしました。「グッジョバ!!!」は、生活に密着し、子どもたちに親しみやすい自動車、食品、ファッション、文具の4業種からなるfactoryで構成され、パートナー企業としてコクヨ株式会社、日清食品株式会社、株式会社ワールド、株式会社島精機製作所、総合警備保障株式会社、サポー



ハロウィンイベントの様子

ト企業として日産自動車株式会社の6社に参加いただいております。「グッジョバ!!」では、日本初の4機種を含む新アトラクション15機種がオープンし、遊園地全体でのアトラクションは約1.5倍の43機種となりました。また、4つのfactoryではモノづくりが楽しめるワークショップを開催するなど、従来の遊園地とは異なる新エリアとなっております。オープンの前後に多数のマスコミに取り上げられたこともあり、オープン直後の3連休は前年を上回るお客様で賑わい、好調な滑り出しをみせました。これらの結果、入園者は大幅に増加いたしました。

夏のプールWAIは、清涼飲料水「キリンメッツ」とコラボレートしたびしょ濡れウォーターゲーム「メッツブラッシュ」や、10トンを超える水量を誇る放水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスブラッシュ!!」、例年人気のおもちゃのアヒルレースなど、エンターテインメントプールとして多数のイベントを開催し、好評を博しました。また、プール更衣室をリニューアルし、お客様により快適な環境を提供いたしました。これらの結果、8月下旬からの低気温などの影響があったものの、入場者は増加いたしました。

温浴施設「丘の湯」は、様々なイベントを開催いたしました。また、ジュエルミネーションの好調により、遊園地帰りのお客様が多く訪れました。しかしながら、1月の荒天の影響などにより入場者は減少いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では、遊園地と連携した特別メニューが人気を集めました。

温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、朝風呂や、替り湯など年間を通じて多数のイベントを開催するなどした結果、過去最高の入場者数を記録した前年並みに推移いたしました。

ゴルフガーデン（練習場）は、年間を通してイベントを開催し好評を博したものの、9月や1月の荒天の影響などにより、入場者は減少いたしました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、日替りのオリジナルイベントをより充実させるなど、リピーター獲得に努めました。また、遊園地内でキドキド体験会を開催したり「ほたるの宵」とセットになったチケットを販売したりするなど、遊園地利用者を取り込むイベントや料金施策を積極的に行いました。これらの結果、入場者は増加いたしました。

「キドキド」と「ポーネランドショップ」を併設する「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、11月に1周年を迎えました。キドキドは、積極的に実施したサプライズイベントが好評を博すとともに、ベビー層を中心に日常的に利用されるお客様の人気を維持しており、入場者は当初の予想を大きく上回っております。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、48億7百万円（前期比18.2%増）となりました。



プールWAIの様子

遊園地の入園者が大きく増加したことに伴う増収があったことなどにより、販売部門の売上高は、31億8千8百万円（前期比6.9%増）となりました。

不動産事業

売上高
1,533 百万円

不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより、15億3千3百万円（前期比10.0%増）となり、営業利益は9億7千7百万円（同18.7%増）となりました。

サポートサービス事業

売上高
2,983 百万円

サポートサービス事業の売上高は、前期は連結内部からの大型工事の受注があったことなどにより、29億8千3百万円（前期比6.2%減）、営業利益は2億4百万円（同0.2%増）となりました。

複合型場外発売施設
「サテライト船橋・オートレース船橋」
オープン



競輪場外車券売場「サテライト船橋」とオートレース場外車券売場「オートレース船橋」が併設された複合型場外発売施設が、船橋競馬場の駐車場内に平成28年4月8日にオープンいたしました。これにより船橋競馬場は、既存の地方競馬、JRA場外発売に加え、競輪、オートレースも楽しめるエリアとなりました。

年間入園者数が2年連続東日本1位に
ジュエルミネーション期間中の入園者数は
過去最高を更新



世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」は、球数を400万球に増やしエリアも拡張、期間中の入園者数は過去最高だった昨年を上回りました。プールWAI等も含めた年間入園者数は、東日本遊園地協会加盟の遊園地で1位となる173万人を記録しました。

新遊園地エリア「グッジョバ!!」オープン



平成28年3月18日に新遊園地エリア「グッジョバ!!」がオープンいたしました。グッジョバ!!は生活に密着し、親しみやすい自動車、食品、ファッション、文具の4業種からなる4つのfactoryで構成され、15機種のアトラクションと4業種のワークショップが新たに登場しました。春休み、ゴールデンウィークとも前年を上回るお客様で賑わい、好調な滑り出しをみせております。

遊園地新マスコットキャラクター
「グッド」と「ラッキー」



グッジョバ!!のオープンに合わせ、遊園地のマスコットキャラクターが新しく誕生しました。「グッド」(写真左)はすぐに何かに没頭してしまい、自由気ままでマイペースなのんびりさん。「ラッキー」(写真右)は美味しいものやオシャレが大好き、明るい性格のしっかり者。よみうりランド新マスコットキャラクター「グッド」と「ラッキー」がよみうりランドを盛り上げます。

■ 売上高 **18,771** 百万円

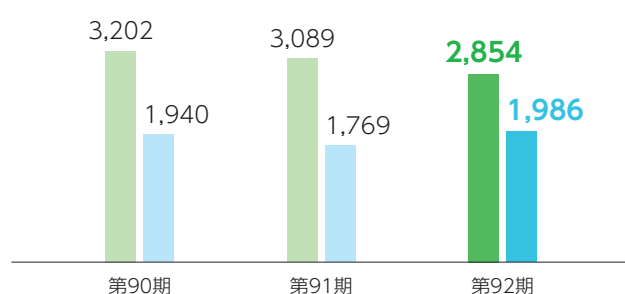
(単位：百万円)



■ 経常利益 **2,854** 百万円

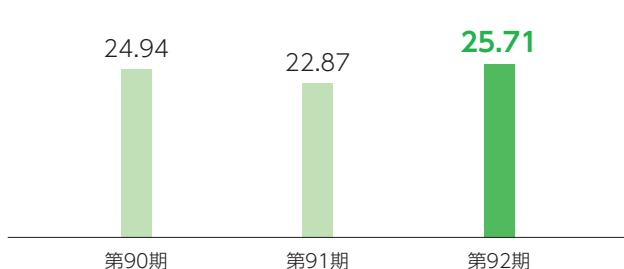
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 **1,986** 百万円

(単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 **25.71** 円

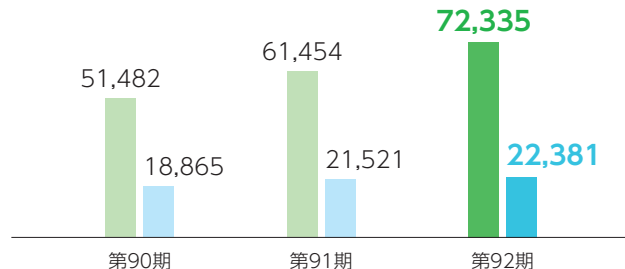
(単位：円)



■ 総資産 **72,335** 百万円

■ 純資産 **22,381** 百万円

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 平成28年3月31日現在	前連結会計年度末 平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,917	5,912
固定資産	64,417	55,542
有形固定資産	52,378	42,150
無形固定資産	137	95
投資その他の資産	11,901	13,295
資産合計	72,335	61,454
負債の部		
流動負債	12,223	6,227
固定負債	37,730	33,705
負債合計	49,953	39,932
純資産の部		
株主資本	18,453	16,855
資本金	6,053	6,053
資本剰余金	4,730	4,730
利益剰余金	9,777	8,176
自己株式	△2,107	△2,105
その他の包括利益累計額	3,928	4,666
その他有価証券評価差額金	3,931	4,667
繰延ヘッジ損益	△3	△0
純資産合計	22,381	21,521
負債純資産合計	72,335	61,454

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	18,771	17,295
売上原価	14,870	13,206
売上総利益	3,901	4,089
販売費及び一般管理費	1,917	1,812
営業利益	1,983	2,276
営業外収益	913	838
営業外費用	43	25
経常利益	2,854	3,089
特別利益	502	—
特別損失	464	452
税金等調整前当期純利益	2,892	2,636
法人税、住民税及び事業税	1,186	654
法人税等調整額	△280	212
法人税等合計	905	867
当期純利益	1,986	1,769
親会社株主に帰属する当期純利益	1,986	1,769

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,222	4,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,248	△8,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,311	5,049
現金及び現金同等物の増減額	1,285	1,027
現金及び現金同等物の期首残高	3,735	2,707
現金及び現金同等物の期末残高	5,020	3,735

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成28年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
 (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 昭和24年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
 販売部門…食堂、売店の経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

当社の従業員の状況 (平成28年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
126名	8名	42歳3ヶ月	16年2ヶ月

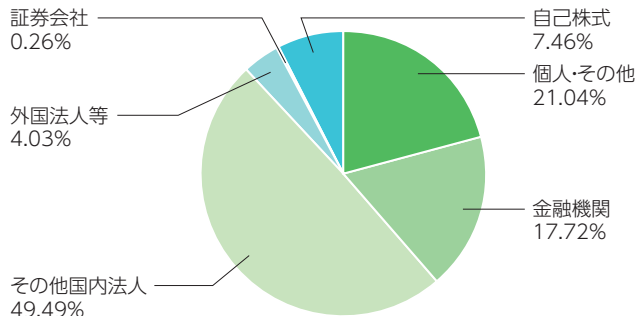
(注) 従業員数は就業人員 (契約社員を除く) であります。

役員 (平成28年6月23日現在)

代表取締役会長	関根達雄
代表取締役社長	上村武志
取締役副社長	玉方功
専務取締役	谷矢哲夫
専務取締役	小飯塚稔
専務取締役	小山興志
常務取締役	久米沢賢尚
常務取締役	中村博
取締役	小林道高
取締役	中保章
社外取締役	渡邊恒雄
社外取締役	加藤奂
社外取締役	大久保好男
常勤監査役	小林利光
社外監査役	濱邦久
社外監査役	児玉幸治
社外監査役	岡田明重

発行可能株式総数……………294,196,000株
 発行済株式総数……………77,292,770株
 (自己株式6,229,254株を除く)
 当期末株主数……………9,051名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508	16.18
日本テレビ放送網株式会社	11,242	14.54
株式会社東京ドーム	5,821	7.53
三井住友信託銀行株式会社	3,845	4.97
大成建設株式会社	2,852	3.68
株式会社読売巨人軍	2,014	2.60
京王電鉄株式会社	1,700	2.19
株式会社横浜銀行	1,631	2.11
オリンピック興業株式会社	1,278	1.65
鹿島建設株式会社	1,000	1.29

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式6,229千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日(中間)	3月31日(期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン引換 1枚 <small>園内で[のりもの(アシカショー含む)4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚(10回分)	
★プールWAI入場 5枚(※期末発行分のみ)	

発行基準

ご所有株数	遊園地・プールWAI招待券綴	株主入場パス
1,000株以上	1冊	2枚
5,000株以上	2冊	3枚
10,000株以上	3冊	5枚
50,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法

電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。

<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>

ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

Topics

川崎競馬場隣接商業施設 「マーケットスクエア川崎イースト」 オープン

平成28年2月18日、川崎競馬場3号スタンド跡地に、商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」がオープンしました。物販、飲食、サービス、アミューズメント、クリニックなど、利便性の高い全27店舗がそろう、365日いつでも「競馬観戦、ショッピング、飲食」が同時に可能となる、他に類を見ないレジヤエリアとなりました。また、川崎競馬場の内馬場には新しい馬型遊具「かわさきホースライダー」が設置され、川崎競馬場の新スポットとして来場者に親しまれております。



「マーケットスクエア川崎イースト」外観



馬型遊具「かわさきホースライダー」



「マーケットスクエア川崎イースト」外観（場内から撮影）

川崎競馬場 ダート競馬の祭典「JBC競走」 平成28年11月3日（祝）開催決定

「マーケットスクエア川崎イースト」のオープンイヤーの今年、ダート競馬の祭典「JBC競走」が、4年ぶりに川崎競馬場にて開催されます。今回は昼間の開催となり、前回川崎競馬場で開催したナイター開催とはまた違った「JBC競走」が繰り上げられます。平成28年の川崎競馬場にさらに注目が集まります。



平成24年川崎競馬場JBC競走開催の様子

株式会社よみうりランド

〒206-8566

東京都稲城市矢野口4015番地1

TEL 044-966-1131（総務部総務課）

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。